

せんなん感染症情報 令和6年5月号

宮城県感染症発生動向調査 第14週～第17週より（令和6年4月1日～令和6年4月28日）

仙南保健所管内の全数報告疾病

- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：報告なし
- 3類感染症：報告なし
- 4類感染症：報告なし
- 5類感染症：報告なし

仙南保健所管内の感染症警報・注意報

第17週現在、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が警報レベルを継続中です。

宮城県仙南保健所



仙南保健所オリジナルキャラクター「てあらっこ」

～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が流行しています～

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、高熱・咽頭痛・嘔吐などを主症状とするA群溶血性レンサ球菌による上気道感染症です。感染経路は患者との接触を介するヒト-ヒト感染が主であり、家庭、学校などの集団生活での感染も多いとされています。手洗いなどの基本的な感染対策を徹底するよう心がけましょう。

【症状】

- ・2～5日の潜伏期間の後、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、苺状の舌などの症状が現れます。
しばしば嘔吐を伴います。
- ・熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。
- ・重症化すると喉や舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱（しょうこうねつ）」に移行することがあります。合併症には肺炎、髄膜炎、敗血症、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などがあります。

【治療】

- ・抗菌剤による治療を行います。
- ・腎炎などの合併症を防ぐため、症状が改善しても主治医に指示された期間、薬を飲むことが大切です。
- ・喉の痛みがひどい場合は柔らかく薄味の食事を工夫し、水分補給を心がけましょう。

【感染経路】

- ・患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。



～ワンポイントレッスン～

咳・くしゃみをする時はどうする？

①口と鼻をカバー

ティッシュなどで口と鼻をおおいます。使用したティッシュにはウイルスなど病原体が多く付着しているため、すぐゴミ箱へ。

②マスクの着用

咳・くしゃみが続くときはマスクを着け、鼻と口をおおいます。

③とっさの時は袖でカバー

「肘ブロック」といいます。手でおおった時は、手に付着した病原体を他に広げないように手を洗いましょう。

④手を洗う

感染しない・させないためには手洗いがもっとも大切です。アルコールを含んだ消毒液の使用も有効です。

【参考】

- NIID 国立感染症研究所 (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ta/exanthem-subitum/392-encyclopedia/340-group-a-streptococcus-intro.html>)
- 東京都感染症情報センター (<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/group-a/>)

- 御意見・御質問などは仙南保健所疾病対策班までお願いします。 電話：0224-53-3121 FAX：0224-52-3678
- この情報は、宮城県仙南保健福祉事務所 HP (<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sn-hohoku/>) にも掲載してあります。
- もっと詳しく知りたい場合は、宮城県公式 HP (<https://www.pref.miyagi.jp/>)、宮城県保健環境センターHP (<http://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/>) をご覧ください。
- 施設内研修として保健所職員による感染症の予防に関する出前講座も必要に応じて行っています。